

# FUJITSU Software

エンタープライズ サービス カタログ マネージャー

## Enterprise Service Catalog Manager

### 企業内の業務アプリケーションの短期SaaS化

企業内SaaS環境に展開する業務アプリケーションの運用機能を共通に使用することにより、開発・提供期間を短縮できます。また、関係会社やパートナーへ業務アプリケーションを提供する際に、使用量に応じた利用料金の明確化が行えます。

**業務アプリケーション運用機能をオールインワンで提供し、開発・提供期間を短縮**

業務アプリケーションの開発では、業務ロジックの開発以外に、業務の運用機能（利用者管理、認証・認可、テナント管理 など）の開発が必要となります。

本製品は、業務アプリケーションをSaaS提供する際に必要な運用機能をオールインワン（運用機能セット）で提供し、業務アプリケーションがAPIに対応することにより開発・提供期間の短縮を可能にします。

**利用状況確認や利用者・テナント管理の一元化により、業務運用作業を軽減**

近年企業のICT部門では、コスト競争力の強化に向けて、企業内データセンターへのサーバ集約（仮想化）が進んでいます。しかし、その上で動作する業務アプリケーションについては、集約が進んでいないのが現状です。集約されずに業務アプリケーションごとに別の運用機能が存在すると、ユーザーIDなどの入力/管理方法、利用料集計の見え方などが異なるため、業務運用作業の負担が増大します。

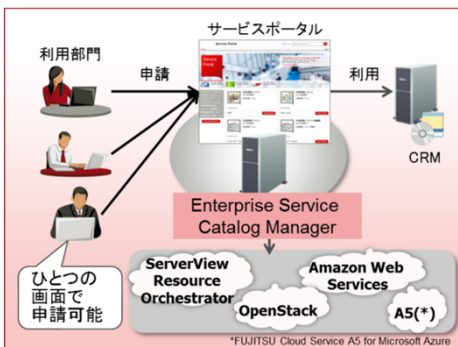
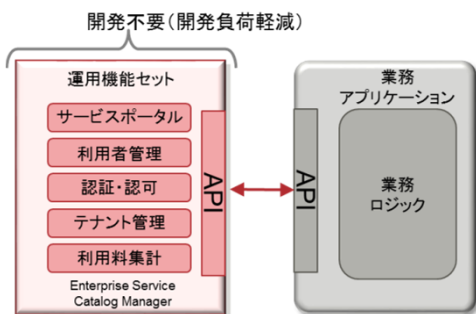
本製品の運用機能を利用することにより、ユーザーIDなどの入力/管理方法や、利用料集計の見え方を統一することが可能となり、業務運用負担が軽減されます。またIaaS環境についても共通に管理することができます。

**利用料集計機能により、関係会社やパートナーごとの費用負担を明確化**

**費用負担の明確化**

共通に利用できる業務アプリケーションを関係会社・パートナーなどに提供する場合、利用実態に見合った費用負担の明確化が必要です。これまでは、使用実態によらず固定請求するか、業務アプリケーションごとに従量課金の考慮を作り込む必要がありました。

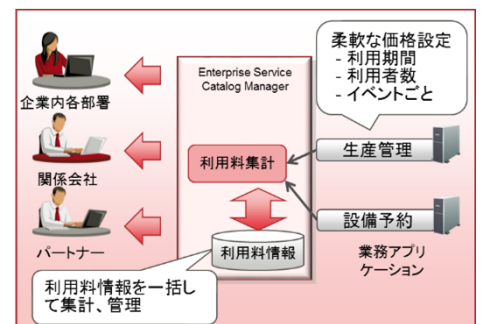
本製品は、利用料集計機能と利用料集計のためのアプリケーションインターフェース、柔軟な価格設定（利用期間、利用者数、イベントごとなど）機能を提供します。本製品を利用することにより、利用実態に見合った費用負担の明確化が実現できます。



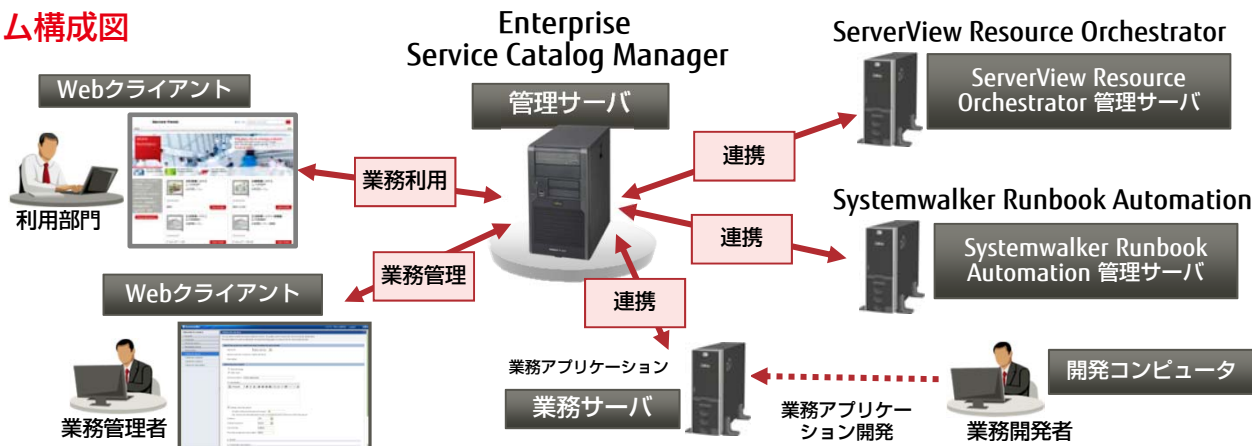
**複数の業務アプリケーションの利用料集計を共通化**

統一した利用料集計機能がないと、それぞれの業務アプリケーションが出力する集計結果をマージする作業が発生します。

本製品を利用することにより、いままでバラバラだった費用負担の集計がまとめて行えるようになり、運用負担が軽減します。



## システム構成図



### ■管理サーバ

業務アプリケーションをSaaS上のサービスとして提供し管理するサーバです。FUJITSU Software Enterprise Service Catalog Managerが動作します。ServerView Resource Orchestratorの管理サーバと同居構成にすることも、別のサーバにすることも可能です。

### ■業務サーバ

業務アプリケーションが動作するサーバです。業務アプリケーションはWebサービスインターフェースを実装するのみで良く、動作プラットフォームは限定されません。

### ■開発コンピュータ

業務アプリケーションを開発するためのコンピュータです。開発の形態は特に限定されません。

### ■Webクライアント

Enterprise Service Catalog Managerの利用部門向けの利用可能サービス一覧や、利用申請、ユーザー管理が行えます。また、業務管理者向けには業務アプリケーションの登録や、利用料確認、利用状況確認が行えます。

### ■ServerView Resource Orchestrator 管理サーバ

仮想サーバ群を配備する際に連携するServerView Resource Orchestratorの管理サーバです。

### ■Systemwalker Runbook Automation管理サーバ

自動運用プロセスを操作する際に連携するSystemwalker Runbook Automationの管理サーバです。

## 商品体系

### ■ Enterprise Service Catalog Manager V16 (16.0.0)

- ・ Enterprise Service Catalog Manager メディアパック\*1
- ・ Enterprise Service Catalog Manager サブスクリプションライセンス/サポート(1サーバ・1年間) V16\*2

\*1：インストール用媒体商品です。使用権は許諾されておりませんので、別途、サブスクリプションライセンス/サポートをご購入ください。

\*2：本商品は、ライセンス使用権とサポート(SupportDesk Standard24)が一体となった年額サービス商品です。

## 動作環境

種類/用途	動作OS	連携IaaS
管理サーバ	Microsoft Windows Server 2012/2012 R2 Microsoft Windows Server 2008 R2	ServerView Resource Orchestrator Cloud Edition Amazon Web Services OpenStack (OpenStack Heat) FUJITSU Cloud Service A5 for Microsoft Azure
管理サーバの推奨環境	推奨CPU	メモリ容量
※	Intel® Xeon® 3GHz以上	4GB以上(OS除く)

※：システム環境によって異なる場合があります。

\*本商品は、プライベートクラウド対応ソフトウェアとして環境配慮ソリューションに登録しています。

\*このカタログは、2016年5月現在のものです。改良のため予告なしに仕様・デザイン等を変更することがあります。

\*Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

\*Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\*製品名などの固有名称は各社の商標または登録商標です。

\*その他、本資料に記載されているシステム名、製品名などには必ずしも商標表示 (TM・®) を付記していません。

### ■ 管理サーバ

Enterprise Service Catalog Managerが動作するサーバです。管理サーバ上でサービスを一元管理します。業務アプリケーションは別のサーバ環境で動作させることが可能です。

### 関連製品

- ServerView Resource Orchestrator Cloud Edition V3.1.1 以降
- Systemwalker Runbook Automation V15.1.3 以降

### 仮想環境での運用について

本商品は、仮想環境での運用について、以下の製品に対応しています。

- VMware vSphere 4 ESX 4.0/4.1、ESXi 4.1
- VMware vSphere 5 ESXi 5.0/5.1/5.5
- VMware vSphere 6 ESXi 6.0
- Hyper-V 2.0



## 製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン

0120-933-200

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://www.fujitsu.com/jp/software/enterprise-catalogmgr/>